

台東区

【児童・生徒数】

9,669名

【学校数】

37校・園

【台東区の特徴】

三社祭やおおずき市等の年中行事、浅草寺や隅田川の桜並木等の名所旧跡、世界文化遺産の国立西洋美術館をはじめとした多くの文化施設などが数多くあり、磨き抜かれた匠(たくみ)の技、気さくで人情味あふれる暮らしが、今もあちらこちらに息づいている。



【課題・改善】

・アスリート教室や体づくり運動教室へ参加した児童・生徒と参加していない児童・生徒の運動やスポーツの興味・関心の向上や運動習慣の定着に差が見られる。

⇒地域社会の力を活用しながらアスリート教室や体づくり教室の実施を拡充することで、運動やスポーツへの興味・関心を更に高め、運動する心地よさを味わわせる。

目標：運動を楽しみながら、自らの体力を高めることができる習慣を身に付ける。

- ・運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の増加
- ・1週間の総運動時間の増加
- ・投力、持久力や柔軟性の体力向上

【成果】

○アスリート教室や体づくり教室に参加した児童にアンケート調査を実施したところ、次のような成果があった。

- ・「これからも進んで運動に取り組みたい」と感じた児童は約90%
- ・「運動やスポーツをすることが楽しい」と肯定的に回答した児童は約95%
- ・休み時間に体を動かす児童が増え、1週間の総運動時間の増加につながった。

【実態・課題】

・「運動やスポーツをすることが好き」という問いに肯定的に答える児童・生徒の数は年々減少している。

・令和4年度東京都統一体力テストの合計点平均値は高い傾向にあるが、投力や持久力、柔軟性は平均値を下回った学年が多い。

⇒児童・生徒の運動・スポーツへの興味・関心を高める。

⇒運動習慣を定着できるようにする。

【取組】

- アスリート教室の取組
 - ・様々なアスリートと連携し、授業を実施
- 体づくり教室の取組
 - ・都内小学校の教員と連携し、器械運動教室を実施
- 教員向け実技研修の取組
 - ・区内の全小学校・園の教員に向け、多様な運動遊びを紹介し、各校園の実態に合った運動をそれぞれ実施

【取組（詳細）】

○ アスリート教室の取組の充実

希望する学校において、アスリートの経験談を聞いたり、卓越した技術を間近に見たりすることを通してスポーツへの興味・関心を高め、スポーツの価値への理解を深めるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を育てる。

実際にアスリートから投げ方を教えてもらい、遠くへ投げるためのポイントを意識しながら投力を身に付けた。



元プロ野球選手矢野さんとキャッチボールをする姿
遠くに投げる力を伸ばす

○ 体づくり教室の取組の充実



感覚づくりの運動に取り組む姿
運動に親しむ資質・能力を育む

非日常的な動きで構成される器械運動教室を区内全小学校の第3・4学年の希望児童対象に実施。

感覚づくりの運動を丁寧に行い、体の使い方を意識しながら取り組む。

クリニック的な要素も含み、できるようになるためのポイントを教えることで器械運動の特性を味わい、自己有用感を育んだ。子供たちからは「できた」「楽しい」「もっとやってみたい」等の感想があがった。

○ 教員向け実技研修の取組の充実

区内の全小学校・園の教員に向け、狭い場所や短い時間でできる運動や幼稚園での遊び、小学校での体育的活動、中学校の体育の授業での主運動につながる運動等で活用できる運動を紹介。

実際に教員が体を動かす楽しさを感じることで、子供たちが主体的に活動するためにはどのような工夫が必要か明確になり、各校園の実態に合った運動を取り入れた。



実際に体を動かし、子供たちに運動の楽しさを味わわせる工夫を考える